

# 新報

行發日一十月八  
刊休日翌日祭國日  
番五六五八〇一第報京東

## 八月雜記

岩木新平

一風呂あびてのちと横は花柳街で家々は戸を閉  
になつて空を仰いでゐた。して、夜が明けるのは九時  
藍色の夕暮れは空に美か、十時であらう。實にひ  
しい。不思議なもので、都つそととしてゐる。パット  
會でもたび／＼見かけるのの煙りを大きく吐いた時  
に、こんな空までが旅情をお早うと云はれたので上を  
をそるである。氣をきかして見ると、物干台に、つこ  
たつたつたのであらうと云つて半玉が立つてゐた  
中が、花をもつてきてくれやあ随分早いと云ふと、  
た。その枕たるやまるで材この頃毎朝よと應へる。聞  
木のやうに硬いのである。つてつて、やつと咲く様  
いままでの、空に吸ひこつてつて、やつと咲く様  
れるやうな眠氣が、すつかつたの事である。そし  
りさめてしまつた。顔を横に朝顔のひらんとするみ  
にむけると、思ひがけなくじろが、好きでたまら  
空からのうせんかつらのオいの、と云ふ  
レンヂ色の花が見えた。そ  
れがなんとも可憐であつ  
た。私ははなれぬまゝに、  
夕靄が静かに下りて暗くな  
るまで、そのうせんかつ  
らの花をちつと見つめてゐ  
た。

波目がけて行くよ  
海のない海  
黄金の船  
山の上から眺むれど  
果ない青い海原  
船の行手は  
何處へか  
海のない海  
何處へか  
勿來の海  
第三班生  
一、松原きよる海岸に  
沖から雲を寄せてくる  
大波小波が岩をうつ  
あゝ景色のこの勿來  
二、小さな白帆が二つ三つ  
沖には汽船が通る  
かもめは海に低くとぶ  
三、朝日は出でぬ大海に  
霞邊に立つて深呼吸  
さあ元氣にラヂオ体操  
あゝすが／＼勿來海  
四、星は空をちりばめて  
黒きとばりにははれた  
勿來の海をのぞいて  
あゝうら／＼勿來海  
五、星は空をちりばめて  
黒きとばりにははれた  
勿來の海をのぞいて  
あゝうら／＼勿來海

### 妖刀流轉

色井 貞吉演  
佐々木今朝吉書  
突然の疫病 (二)  
地方の人は思ひやりの深  
いもので、氣に立つて來  
て連れて行つて呉れた、成  
程さして遠くもな  
○今夜はア、先生様御座  
るかやア  
△エ、先生様は居  
らさうよ  
○それは度好かつた、  
モン沙さんや、先生様、居  
らさうよ  
△ア、又居らさうか、エ  
何うも有難う御座いま  
た、モン貴方、何卒先生へ  
お取次をお願いします、御存知  
でも御座います、手習  
の先生西條兼之進様で御座  
います、只今御急病で、  
何卒先生にお見舞を願ひ度  
いので、  
△エ、それは御心配  
な事で、一寸待つて居な  
れやア  
奥へ入つて取次いで呉れ  
る、間もなく出て來て  
△先生様はスグ行かすと  
仰しやつた  
十内は最上記憶へて了つ  
たので、行かすと聞いて安  
心した  
供の男に樂箱を持たせ

### 送友出征 (其一)

珠雲 小野勝平  
咄々何堪脾肉款  
奉將君命不辭難  
磨磨磨秦天才有  
劍復神州一片丹

地方の醫師だから手輕なもつておこよも西條兼之進につて呉れとは申されません  
の、十内が附添つてスグには以前から召使はれた奉公  
西條方へ参りましたが、醫人、殊に新七との關係が有る中にも片時だも忘れぬ  
師の見立は果して中風とりますから、何卒せめて一日も早く仇敵、廢瀝軍服を一  
いふ事、この病氣ばかりは周忌の穢む迄お手に置いて一日も早く仇敵、廢瀝軍服を一  
薬も補ひ、絶対安静にして居る所でもあり、十内は又十内兼之進が、この人は一  
幸か不幸かおらか等の一行の所でもあり、十内は又十内兼之進が、この人は一  
が此處へ着いてから發病し内、西條様は私の生命の倍その考へが頭を去らぬと  
たからいよ／＼うなもので、昨親の大恩人だから、たとへ見へます、それにつけても  
日迄の兼之進だつた日には私は三度の食事を頂かなく二人の小兒に劍道術を仕  
看病的な手もなない處だつたといふ、から御奉公が度込まうと云ふ約束が、この  
これからおらかおこよといふ、承知しない、朝身體では思ひもよらず、そ  
十内の三人が、交る／＼附も早くから夜遅くまで水をの事に非常に苦心をして居  
添つて看病をいたす、何分及むやら薪を割るやら、さうらしい、自分では一日も  
長い病氣で、何時もよくな／＼と働いて合間には早く元の身體に本復し度  
といふ制限がないのだから、早くと草鞋を作り、これをと焦つて居るのだが、次第  
ら始末は悪う御座います、買つて小便銭を稼ぎ、何分々々に冬になつて寒氣も加  
はり、具合は悪くなるばか  
りです

### 炎暑雜筆 (中)

島田 忠夫  
個人展として、先づ大  
成功であつた  
第一、賣約も相當あつた  
中で海軍大佐齋藤香次郎氏  
は、わざ／＼機頭賀から上  
京され、拙作「良寛」を留  
して下さる。「現代」の  
編集長田代、の鬼

### 平岡俳會八月旬會

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### 海の彼方

國府田信良共作  
柴田 春雄  
銀の光  
園藝の好きな子が鉢植に  
露路に、植つた朝顔  
が、美しい花を朝顔朝顔  
かせて、たのませてくれ  
朝はうれしや  
朝顔咲いて  
露路の奥まで  
霧がくる  
鉢に栽培された豪華な花  
もよいが、露路裏にひよろ  
くと、一本の竿を頼りに  
咲く貧弱な花も又風情ある  
ものである  
五時で行く友を停車場に

### 平岡俳會八月旬會 (二)

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### 炎暑雜筆 (中)

島田 忠夫  
個人展として、先づ大  
成功であつた  
第一、賣約も相當あつた  
中で海軍大佐齋藤香次郎氏  
は、わざ／＼機頭賀から上  
京され、拙作「良寛」を留  
して下さる。「現代」の  
編集長田代、の鬼

### 平岡俳會八月旬會

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### 海の彼方

國府田信良共作  
柴田 春雄  
銀の光  
園藝の好きな子が鉢植に  
露路に、植つた朝顔  
が、美しい花を朝顔朝顔  
かせて、たのませてくれ  
朝はうれしや  
朝顔咲いて  
露路の奥まで  
霧がくる  
鉢に栽培された豪華な花  
もよいが、露路裏にひよろ  
くと、一本の竿を頼りに  
咲く貧弱な花も又風情ある  
ものである  
五時で行く友を停車場に

### 平岡俳會八月旬會 (二)

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### 炎暑雜筆 (中)

島田 忠夫  
個人展として、先づ大  
成功であつた  
第一、賣約も相當あつた  
中で海軍大佐齋藤香次郎氏  
は、わざ／＼機頭賀から上  
京され、拙作「良寛」を留  
して下さる。「現代」の  
編集長田代、の鬼

### 平岡俳會八月旬會

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### 海の彼方

國府田信良共作  
柴田 春雄  
銀の光  
園藝の好きな子が鉢植に  
露路に、植つた朝顔  
が、美しい花を朝顔朝顔  
かせて、たのませてくれ  
朝はうれしや  
朝顔咲いて  
露路の奥まで  
霧がくる  
鉢に栽培された豪華な花  
もよいが、露路裏にひよろ  
くと、一本の竿を頼りに  
咲く貧弱な花も又風情ある  
ものである  
五時で行く友を停車場に

### 平岡俳會八月旬會 (二)

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### 炎暑雜筆 (中)

島田 忠夫  
個人展として、先づ大  
成功であつた  
第一、賣約も相當あつた  
中で海軍大佐齋藤香次郎氏  
は、わざ／＼機頭賀から上  
京され、拙作「良寛」を留  
して下さる。「現代」の  
編集長田代、の鬼

### 平岡俳會八月旬會

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### 海の彼方

國府田信良共作  
柴田 春雄  
銀の光  
園藝の好きな子が鉢植に  
露路に、植つた朝顔  
が、美しい花を朝顔朝顔  
かせて、たのませてくれ  
朝はうれしや  
朝顔咲いて  
露路の奥まで  
霧がくる  
鉢に栽培された豪華な花  
もよいが、露路裏にひよろ  
くと、一本の竿を頼りに  
咲く貧弱な花も又風情ある  
ものである  
五時で行く友を停車場に

### 平岡俳會八月旬會 (二)

士田 華丘  
もたいなや北支ニユースを敵戦に應  
年毎に子等よく育ち、故郷せばむ  
朝顔の向をかへ／＼た／＼へり  
夕立や端山カン／＼片日照  
本 問 鷹 子

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### お盆提灯大賣出し

一見涼風誘ふ優品  
特製 新型行燈  
變り型は數百種も御座います。  
御一覽下さい。  
向本年度より製造元にて新製品は昭和十  
二年製の責任マニークを入れてあります。  
御注意下さい。  
平二丁目 福多屋

### 白菊廣瀨支店

抽籤券付  
大賣出し  
八月十一日(日)十三日(月)  
抽籤券金一圓  
抽籤券金一圓  
一等 白菊燈籠 十六立入 一本  
二等 手提金庫 一個  
三等 シヤンペン 一本  
四等 五輪商品券全部 一枚  
抽籤券  
平田町 電話五五

### 院醫波難

小児科  
入院 隨需  
自炊の便あり  
電話五〇二番  
(看護婦見習、看護婦募集)  
士 博 學 醫 難 波 陸

### 山光堂

佛具問屋  
電話五五〇番  
四ツ倉支店 電話五五〇番  
木月支店 榮玉堂 造花店

### 加藤政英

以心院新盆に相當り申候處時節柄甚  
だ勝手ながら佛前提灯其他供物等一  
切御辭退申上候間不愚御了承相成度  
御願申上候  
内郷村 宇小島 敬白  
野崎滿藏  
迎接院新盆に候處誠に勝手がましく  
候得共時節柄提灯其他供物等御辭退  
申上度御諒承御願申候 敬具  
平市田町

